

13 令和5年度体力づくり推進計画

<全体計画>

学校の状況

- ・全校児童数62人の小規模校
- ・地域の行事に参加する児童が多く、学校と地域との関係が深い。
- ・保護者の大部分は、広島・呉方面へ通勤し、自営その他はわずかである。

児童生徒の運動・生活習慣の実態

- ・休みの日や放課後に運動場で遊ぶ児童が多い。
- ・7割の児童が1日8時間以上睡眠を取っている。
- ・ほとんどの児童が、朝食を毎日摂取している。

広島県体力・運動能力、運動習慣等調査結果との比較から

- ・第4学年の女子・第5学年の男子において、県平均値かつ全国平均値より低い項目が多い。
- ・全体として「握力」「走力」が、県平均値かつ全国平均値より低い学年が多い。

実態把握

児童生徒の実態等から明らかになった課題

- ・握力や走力の運動能力が劣っている傾向にある。
- ・昨年に引き続き、第4学年の女子、第5学年の男子は、全般的に運動能力が劣っている傾向がある。
- ・運動の得意な児童と苦手な児童の二極化傾向が見られる。

達成目標

- 運動を楽しく行えるような取り組みを通し、運動する機会を増やし、運動することを好む児童を増やす。
- 体カテストの総合評価のAB率—DE率を27%以上にする。

取組事項

- 校庭の遊具をサーキット運動として遊べるように表示を工夫したり、遊び方を紹介したりする。
- 各児童の新体カテストの結果を保護者や児童に知らせ、運動への関心を高めさせる。
- 町内の体育主任と連携を深め、情報交換を行い、体力の向上を図る。
- 定期的に実施する体育朝会で、児童に運動の楽しさを体験させる。
- 前年度の課題を含め、体力を高めるために、「貯筋通帳」を作成し、目標をもって楽しく取り組めるようにする。
- 安芸郡及び坂町の体育的行事に進んで参加するよう奨励する。

期待される効果

- ・体育科の授業を楽しみにし、意欲をもってがんばれる児童が増える。
- ・児童や保護者の運動への関心が高まり、家庭での親子の運動量が増える。
- ・同一町内の様子を知ることによって、体育科授業の取組み意欲が高まる。

体制

- ・体育主任が中心となり、低・中・高学年ブロックと年間計画を練り、体育科の充実を図る。
- ・生徒指導部や体育主任・保健主事が中心となり、体育的行事や保健行事を計画し、取り組む。
- ・郡や町主催の体育的行事に向け、高学年担任と連携を保ち、計画的に取り組む。

推進組織

